

Kick Offシンポジウム

～研究を巡る今年度の動向～

当所新任職員の研修の一環として、様々な研究分野からエキスパートをお招きし、当所職員のスキルアップを計ることを目的にした「Kick Offシンポジウム～研究を巡る今年度の動向～」は4月25日(水)、一般からの参加者を含め139名もの多数の方々の参加を頂き開催されました。

今年度は 独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センターより 近藤 洋輝 特任上席研究員ならびに 鳥取大学工学部 奥山 育英 名誉教授 をお招きし、近藤特任上席研究員からは「IPCC／WG1による最新の知見：温暖化の現実化とより進展した将来予測」、奥山名誉教授からは「港湾技術研究所時代における計画研究」と題したご講演をいただきました。

また、先日のソロモン諸島での津波被害について、現地に派遣された独立行政法人 港湾空港技術研究所 津波防災研究センター 富田 孝史 上席研究官より、緊急報告として「ソロモン諸島における津波被害調査報告」が説明されました。(企画調整課)



山根 隆行 国総研
副所長による開会挨拶



独立行政法人 海洋研究開発機構
近藤 洋輝 特任上席研究員



鳥取大学工学部
奥山 育英 名誉教授



独立行政法人 港湾空港技術研究所
富田 孝史 上席研究官



あいにくの天候にもかかわらず、当日
は多数の方々に参加頂けました。